

天橋立公園松並木保全事業



京都府立 天橋立公 園の紹介

背景



- 日本三景に数えられる特別名勝
- 全長3.6km、約25haの都市公園
- 「白砂青松」と呼ばれる松並木(約6,700本)を有する
- 年間観光客数約300万人の宮津市を代表する観光地
- 入園料は無料





①松の弱体化

- 松以外の広葉樹や草木類が成育しやすい状況のため、松の根がしっかり張れてお らず、倒木の危険性が高い
- 病害虫の感染による松枯れの被害を受け、年間伐採木が増加している
- 古くから親しまれてきた古名松も含めた多くの松が世操を余儀なくされている

②景観の悪化

- 白砂青松にふさわしくないと地元民からの声がある
- 砂浜に松の落ち葉が散乱している
- 松並木のなかに広葉樹が繁茂しており、うっそうとした景観になっている

松並木消失



天橋立公園松並木保全事業



事業の 目的

> 事業 内容

日本三景「天橋立」の象徴である松並木の景観を守り、次世代へ継承するため、<u>松の健全な生育環境を整備</u>し、<u>病害虫等による松枯れを防ぐ</u>等、持続的に景観を維持できる環境を整備する取組を実施する。



- 1. 松の成育環境整備
- ・ 広葉樹の伐採 光や風の通りを改善し、松の成長を促進
- 腐植層の除去
 倒木のない安定した並木景観の創出
 広葉樹や草木類の侵入および成長を抑制
 林床を貧栄養化することで適切な松林を育成
- 2. 病害虫の除去
- 薬剤散布 マツノザイセンチュウなどの害虫を防除し、松枯れを予防
- 松の剪定 樹勢を整え、病害虫の侵入を防ぐ



松の弱体化の流れ

病害虫による松枯れ



松葉が落ちる



土壌の富栄養化



広葉樹や草木類の繁茂



松の根が十分に張れず、 光合成もできなくなる

松の成長が阻害



松が弱体化し、倒木等を招く

天橋立公園松並木保全事業



白砂青松の回復



健全な松が成育することにより、 松並木の景観の魅力が向上する。 松の寿命が延び、日本三景天橋 立を未来へつなぐ

観光価値の向上



松並木の魅力向上により、天橋 立を望むことのできる傘松公園 や、寺社仏閣など近隣スポット との相乗効果を得られる

周遊性の向上



天橋立周辺への観光客増加により、北部地域の伊根の舟屋や夕日ヶ浦温泉等の他観光地への観光客の分散も期待できる

ブランドイメージの向上

自然・文化景観の保全に関与することで、企業のCSRを果たす取組として評価され、SDGsの目標達成にも貢献

広報・PRの機会

京都府HPでの企業名公表などを 通して、地域貢献企業としての 認知度向上、地元産業との連携 プロジェクトや事業展開の可能 性が広がる



寄付額に応じて感謝状を贈呈します。また、公園内への ネームプレート等の設置も現 在検討中です!

京都府広報監まゆまろ

企業の 皆さま へのメ リット

得られる

成果等

京都

